



# 山田たかゆき



## 出会いを力に！絆

日頃、インターネット上で「ブログ」と呼ばれる日記をつけています。活動や仕事内容を知って頂くためにできる限りの更新をしたいと思っています。区議会議員の仕事は第一義的には区政のチェックであります。区民の代表として健全な区政運営が行われているか見ることです。さらに私は皆さんからチェックを受けることが大切だと思っています。

区議会議員の見るという仕事は、ただ眺める事ではありません。事前に経緯や事業内容を知り、現場や人の心を感じてこそ見るべきものが見えてくると思っています。私の活動はデスクワークも大切ですが、現場に足を運ぶことも欠かせません。現場の様子は偽りようがありませんし、そこで出会う方々の声は重要な視点や気づきを私に与えてくれます。

おかげ様で今年5月をもって2年の任期が経過します。任期4年の半分以上が過ぎます。仕事を通じて出合いに恵まれ、良い経験が蓄積されてきました。これからも地域の声に耳を澄ませ、より良い板橋のために微力ながら全力で取り組んで参ります。宜しくお願ひ申し上げます。

\*公職選挙法にて、区議会議員の年賀状の郵送は禁止されています。区政報告を以って皆さまへの年頭のご挨拶とかえさせていただきます。



## 坂本区長に平成25年度の予算要望を提出

自民党板橋総支部にて、板橋区内の各種団体の要望聴取会が行われました。要望書を拝見させていただきながら、団体の代表のみなさまにお話を伺いました。7月中に取りまとめた「平成25年度予算要望書」を坂本区長に提出いたしました。

各団体からお寄せいただいた要望事項の内容や視点を今後も参考にさせていただきながら、課題の調査をさらに進めて解決や改善が早く図られるように努めます。また多くのご提案もいただきましたことを感謝申し上げます。

### 〈要望項目数〉

各種団体編 135項目(27団体より)

政策提言編 95項目(企画総務15、区民環境14、健康福祉18、都市建設24、文教児童24)計230項目

### 〈重点要望項目〉

- (1)災害対策の充実(防災訓練の充実等)
- (2)耐震診断・補強業者の参入枠拡大と家具転倒防止強化
- (3)消防団、各分団本部、資機材格納庫の充実
- (4)生活保護者(世帯)の実態調査の実施
- (5)ジェネリック医薬品の利用促進
- (6)東上線立体化早期実現
- (7)大山地区まちづくり計画の促進



## 茅ヶ崎市役所視察

## 行政評価制度について

7月

区議員団有志にて視察に伺い

ました。視察内容は「決算審査における事前評価のあり方

7月

について」です。

板橋区では800を超える事業を行っています。区議会として議会や予算・決算委員会を通じて健全な区政運営が行われているかチェックをしています。議員としての資質や問題意識によって各事業は議題として取り上げられます。議会としては区長の予算案を可決していることで、事業の予算承認をしている仕組みです。

行政評価委員会 傍聴と報告書

7月

行政評価委員会を傍聴しました。板橋区では、学識経験者6名、区民公募3名の9名で行政評価委員会を構成し、客観的かつ区民の視点に立った議論を行うことで、区政の健全な運営に反映しようとしています。

防災講座の開催—マンション防災—

9月

志村消防署にご協力を頂き、防災講座を開催しました。都市型の震災においては家屋の倒壊や火災によって多数の被害が出ると考えられています。板橋区においても耐震診断や耐震補強助成の拡充や町の不燃化を進める取り組みを行っています。自助、共助、公助というテーマの中で、私たち住民がまず取り組むべき自助

講座の中で「ケガをしないこと」の大切さが説明されました。震災時に公助が期待できない時にケガをすると、病院に行くのも、医者にかかるのも大変です。またケガをしなければ共助つまり、人を助ける側に加われます。ケガをしないためにはどうすればいいでしょうか。震災時に慌て

緑小学校リングタワーの再使用

9月



区立緑小学校の遊具リングタワーが再使用になりました。長らく使用禁止になっていましたが、板橋区教育委員会に問い合わせたところ「高い箇所から鉄製のマンホールに児童が落ちると危険であるので使用禁止にした」とのことでした。

完了させたので使用可能な状態である。使用の判断を前校長に委ねたままになっていく」とのことでした。前校長が判断を長い間保留にしたままであったので使えなかったという説明でした。そこで現校長先生に使用出来るかどうか確認したところ、「鉄製の藤棚がリングタワーのすぐ横にあるので、飛び出しているバーの危険箇所が是正されれば、使用可能だと考える」とご返答をいただきました。

【要望事項②】 植栽の剪定

9月

朝の通勤時間、勢いよく飛び出してきた自転車にぶつかりそうになった経験はありませんか。見通しが悪く、出会いがしらにヒヤッとした経験はどなたにもあるのではないのでしょうか。中台3丁目付近の区道においても植栽が視界を



狭くしていると改善の要望を頂きました。植栽の刈り込みを板橋区に依頼し、実施しましたのでご報告いたします。

在り方を検討する余地はありそうです。

行政評価報告書において「改善」が何年も指摘されているにも関わらず、予算面でも事業面でもそのまま継続されている事業については厳しい指摘もありました。「改善」と行政評価委員会が結論を下していても、何年も反映できないならば体制にも問題があります。行政評価委員と区職員の貴重な時間を使って評価がまとめられていきますので有効な活用が期待されます。

【板橋区HP行政評価委員会】  
http://www.city.itabashi.tokyo.jp/c/kurashi/001/001906.html

ずに行動する、家具の転倒防止を行う、物が落下しない場所での寝る、ガラスが飛散しないようにカーテンを閉めて寝るなど基本的な注意事項を平時に守ることができるとかかっています。

季節や時間帯や環境によってもシミュレーションは変わります。大切な家族を守るためにも意識を変えてあなたが主役の防災プランを考えてみてください。意識啓発のための地域での講座を今後も続けて

ただけでした。さらにカバーを全体にかぶせたので安全性が高まりました。再塗装も行われ、きれいに生まれ変わったりリングタワーは現在使用時のルールを作って、安全に使用されています。

不燃化特区 12地区に決定

9月

「震災時に大規模災害の恐れのある木造住宅密集(木密)地域を解消しようと、東京都が進める『木密地域不燃化十年プロジェクト』で、都は30日、事業が開始する2013年度の対象地区として、応募のあった全12地区を選ぶ方針を固めた。当初は12地区の中から3地区程度を選ぶ予定だったが、緊急性が高いことからすべての地区で着手することにした。」(東京新聞2012年8月11日朝刊より引用)

板橋区大谷口地域の平成25年度から事業化が決定しました。自民党議員団として板橋区に働きかけた成果です。報告します。当初、板橋区としては先行実施地域の応募には消極的で、応募は見送られそうでした。相当な熱意を

【要望事項①】 土止め補修工事

8月

7月初旬に中台しいのき公園内の土留めの補修工事の要望を伺いました。現場に行き、土留めの破損を確認しました。雨水によって土砂が崩れ落ちる危険がありましたので、至急、板橋区担当課に危険箇所の確認と是正をお願いしました。迅速なご対応をいただき、工事が完了しましたので皆さまにご報告申し上げます。

今回はサンシティ・グリーン・ボランティアの皆さまにご指摘を頂き危険箇所の改善

いきますので機会があれば是非ご参加ください。地域の防災力を高めていきたいですね。



決算委員会 健康福祉分科会(質疑内容一部)

10月

山田 持続可能な区政運営を行わなければならない中で、板橋区は大変厳しい財政状況にあります。(予算を)かけなければならぬところは当然かけなければなりません。そうした中でも健康福祉委員会の所管の中でコスト意識から決算に少しでも反映することができたこと、減じることができたこと、あるいは来年度の予算の中で反映できることがあれば説明ください。

健康推進課長 23年度決算で減になったものというところは、さまざま事業の関係で減になったという部分があります。今現在、区全体でいわゆる経営革新計画ローリングという形で事業の総ざらいを行っております。今検討を

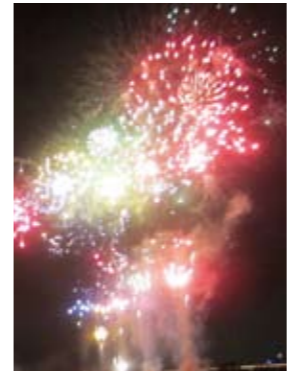
もって区に訴えまして応募の運びになりました。結果は応募した区全部合格。3区の予定が、応募区全部実施となりました。仮にこの応募をしていなければ、1年以上、プロジェクトが実施されません。震災は待つてはくれな

を速やかに行うことが出来ました。ご協力に感謝を申し上げます。場所は、中台3丁目サンシティ集合住宅から大きなスタジイの脇を公園の方へ下りてすぐの場所です。



いたばし花火大会

8月



第三回定例会

9/20~11/5

しているところです。具体的な中身として項目があがっているのは、検診事業の見直し、リフレッシュ事業の見直しとなります。





板橋区制定80周年  
記念式典開催

10月



板橋区民まつり

10月



熊野神社大祭

9月

10月に開催された板橋区民まつり、農業まつりにてオリンピック・パラリンピック、2020年東京への招致のための署名活動を板橋区議会議員有志で行いました。多くの方に協力いただきました。

オリンピック・パラリンピック招致の署名活動

10月

本蓮沼の南蔵院をお借りしてサンシティ在住の佐野奈津美さんの作品展示を行いました。昨年の区政報告会でも作品をご紹介させていただきましたが、力強く、いきいきとした絵画作品で多くの方に楽しんでいただけたと思います。アール・ブリュットとはフランス語で「加工されていない生の芸術」の意味で、正規の美術教育を受けていない人たちが独自の方法や発想によって制作した作品のことです。障がい者のアートだけではなく、より広範囲の作品を表しています。作品はユニークで印象的なものが多くあります。作品に

アール・ブリュット展覧会

佐野奈津美さんの作品

11月



計4日間で4263の署名が集まりました。ご協力いただきました。ありがとうございます。

よっては「人間の内側から湧き上がる衝動」や「根源的な問いへの暗示」などのイメージを喚起します。日本においては、「障がい者美術展」という美術展が開催されていますが、見直す動きが近年生まれています。芸術作品の評価の在り方として、健常者の作品と分けて展示する方法にノーマライゼーションの立場では課題があると考えられたためです。身体的、精神的ハンディキャップを持っている方の作品でも、芸術作品として観る者に大きな感動を呼び起こす作品はあります。本来、それは当然のことです。そのこと

**おねがい**  
日々の活動はブログでも報告していますので是非ご覧ください！

第四回定例会  
11/21~12/16



に気付くことは障がい者と健常者の間のボーダーを取り扱う契機になりえます。ノーマライゼーションの社会を目指す上で、このアール・ブリュットの作品が契機となることを期待しています。今後も継続的に作品や作家を紹介して普及活動に努めていきたいと考えています。区長をはじめ大勢の方にご来場いただきました！

編集後記

息子が2歳になりました。お友達も出来て一緒に遊ぶ機会も増えたようですが、どうにもシャイなようです。輪から外れて一人静かに遊んでいることが多いと妻が話します。誰に似たのでしょうか！？おもちゃで遊ぶ様子は、真剣で純粋一途です。自分の世界がぐんぐん広がっている感じがします。負けないように頑張ります。



山田貴之事務所

〒174-0064  
板橋区中台 3-27-サンシティ D棟 605号室  
●TEL&FAX 03-6906-4547  
●Blog <http://ameblo.jp/yamadatakayuki1976/>  
●Twitter yamada\_takayuki  
●Facebook Takayuki Yamada  
●E-mail desk.yamada@gaea.ocn.ne.jp

皆様のご意見・ご要望を是非お寄せください。